

## 地域意見交換における主な意見について

道内でSDGsの普及活動や身近な実践活動等に取り組む企業や団体、市町村と面談の上、意見交換を実施。

	面談日	区分【地域】	意見要旨
1	2018年 10月10日	団体【上川】	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsは、単に個々のゴールに向かって取組を進めるということではなく、まず、SDGs全体を知ってもらうことが大切。また、地域の課題との関連を考え、ローカライズすることが重要。</li> <li>上川北部の各自治体では、一部を除き、SDGsに関する認識は広がっていないと思われる。</li> <li>道のビジョン（原案）はデータなど良く整理され、これを見るだけでも面白いと思う。</li> <li>ビジョン（原案）の指標について、当面は、SDGs指標や（自治体SDGs指標検討委員会が提案する）ローカライズ指標と関連が高い既存の指標から選定するしかないのではないか。次の段階として、指標とSDGsの関連付けを整理することも必要と考えられ、適切な指標づくりやその後の検証・評価には専門家が入ることが必要と思われる。ただし、その専門家はまだまだ少なく、道内にはまだいないのではないか。</li> <li>SDGs推進ネットワークについては、例えば各会員の取組をデータ化し、わかりやすく見える化すると、普及の点で良いのではないか。</li> </ul>
2	2018年 10月26日	企業【渡島】	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsに取り組んでいる企業は、それを発信することが重要と考える。</li> <li>道のビジョン（原案）について、北海道で重点的に取り組むことを定めることは難しいと思うが、伸ばす所は伸ばすようにした方が良い。全道共通した強みとしては、食と観光が考えられるので、食と観光を推進することで、全道的なSDGsの推進に繋がるのではないか。</li> <li>北海道においてSDGsの推進を進める際は、既に取り組んでいる企業を活用して進めると良いのではないか。</li> </ul>
3	2018年 10月26日	市町村【渡島】	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道においてSDGsの普及イベントを開催する場合は、できれば地域でも開催してほしい。</li> <li>今後、国の「SDGs未来都市」の募集があった場合、新エネルギーの活用などを主な内容として応募することを検討している。</li> </ul>
4	2018年 10月29日	団体【根室】	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsの考え方を伝える際に、自分事として感じさせることが重要であるが難しい。SDGsのファシリテーターは増えてきたが、トレードオフの問題が考慮されずに伝えられる可能性も高く、間違いを広めることになりかねないのが難しいところ。</li> <li>道のビジョン（原案）について、データは予測データが大切なので、出せるものがあれば予測データも掲載すると良いのではないか。</li> <li>SDGsに関するワークショップ等で生まれた事業を行う際、費用が発生するので、行政の支援があると良い。</li> <li>他の地域でのSDGsの取組を知ることができる場があると良い。</li> </ul>

	面談日	区分【地域】	意見要旨
5	2018年 10月30日	市町村【釧路】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本地域では、豊かな自然環境と、力を入れて進めている観光の部分でSDGsに関する取組の組み立てができると考えている。その他、アイヌ文化や野鳥といった資源の活用も考えられる。</li> <li>・SDGsについては、先駆的な取組をしなければいけないイメージがある。SDGsに資するような取組を今までも行ってきた中で新しい取組を作るのは難しいように思う。</li> <li>・今後、国の「SDGs未来都市」の公募があった場合、応募について検討する予定。</li> </ul>
6	2018年 10月30日	企業【釧路】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの勉強会を数回開催したが、具体的に何をすればよいかというところがわからないままとなった。また、勉強会直後は取り組む意欲が沸くが、中々続かない。取組が続くような仕組みを考えていく必要がある。</li> <li>・道のビジョン（原案）について、データも記載されており、方針も記載されていることは良いと思う。</li> <li>・SDGs達成に対する取組を紹介する「自慢大会」のようなイベントを開催することが、普及の点で良いのではないかと。</li> </ul>